

NEW ASIA MOVIES

PRESENTED BY THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS

新しい光と風・ベトナム映画

PHIM VIỆT NAM



サイゴンからの旅人

ベトナムの田園風景をひた走る
生者と死者のロードムービー



ALXIUOLVANY NEW ASIA MOVIES

サイゴンからの旅人

PRESENTED BY THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS
新しい光と風・ベトナム映画

長い戦乱の時代とドイモイの変革を経て、ベトナム映画界はいま新生の強い気運に満ちている。癒えようとする意志と生の喜び。全編に輝き溢れる、新しいベトナム映画の魅力。その光と風を感じてほしい。



★1997年ベトナム作品/ザイフォン映画社制作
スタンダード/カラー/35mm/99min.
★監督：レ・ホアン
★出演：ファム・コン・ニン、モック・ミエン

運命なのか 偶然なのか
迷走する遺骨の旅 追いかける生者の旅

ベトナム戦争が終わり、活気に沸くサイゴン駅から元解放軍兵士タン(コン・ニン)が列車に乗り込む。彼は戦友の遺骨を故郷の村へ運ぶため、北へ向かう旅に出た。

途中駅から、同じく元解放軍兵士でありサイゴンの市街戦を戦った仲間である、懐かしい女性ミエン(モック・ミエン)が乗り合わせる。

再会を喜び旅を共にする二人だったが、ふとした事から列車はタンを駅に残し発車してしまう。バイクタクシーを雇い懸命に後を追うが、なかなか追いつけない。遺骨はミエンの手に残され、そこからさらなる迷走の旅を始めてしまう。

運命なのか、偶然なのか、誰にも分からない旅の途中で、生者が会おうと叫ぶ光景、遺骨が会おうと婚約の行列。この世の悲喜を巡りひとすじに走る。旅人達のひたむきな意志と、死者へ注がれる温かなまなざしが、観る者の心の琴線に触れる祈りの名作。

背景に広がるベトナム南部から北部へ向かう雄大な風景を、シャープな映像が切り取る。レ・ホアン監督はじめ若手スタッフ、若手キャストによって作られたこの作品は、ベトナム国内映画祭で優秀作品賞を受賞。コン・ニンが最優秀主演男優賞受賞。国外でも高い評価を受けた。



VietNam - THE COMMITTEE FOR VIETNAM FILMS -
ベトナム映画上映実行委員会



川のある風景 ベトナムについて

ベトナムの人情風俗は、日本人にはとてもなつかしく親しめるものがある。ハノイ空港からハノイ市街に至る水田地帯の風景など、農家の建物がみんな煉瓦を積んだものであることを別にすれば、日本の田舎の風景と殆ど変わりがなく、そのしっとりした風情に心がなごむ。行き交う人々のすばしっこい姿などもそうである。

ベトナムの美術では川が描かれることが多く、それがまた日本の伝統的な美意識と共通するものがあると思う。地形的に中規模河川が多く、またどちらか中国の山水画の影響を強く受け継いでいるからなのだろうが、川の流がいつしか仏教的な無常感の象徴ともなっており、ベトナムと日本の美意識に似ている共通性をもたらしているのではないかと。ベトナム映画にも川はよく出てくる。それがしばしば、たんなる水の流れてはくなく、人生の悲哀を黙って静かに洗い流してくれるもののように思えることがある。ダン・ニャット・ミン監督の「十月になれば」という名作でそんな川を見てから、私はベトナム映画に特別な関心を抱くようになったが、川べりの風物のたまたますが、何よりもやさしく心を癒してくれるという風景の感じとのかたの日本人的特色を、私はベトナム映画から教わった。

言うまでもなく、ベトナムは想像を絶するほどの長く悲慘な痛みに耐えぬいた国である。しかし私がつきあっているベトナム人の多くは、はにかみと遠慮がよく身についた人々である。強がる姿など見たこともない。そして、はにかみや遠慮が美德だと言えるならば、日本人にもそれは豊かにあつたはずのものである。

ベトナムとの文化交流がもっと活発になれば、われわれはさらに多様な共通点を認め合うことができるようになるだろう。

佐藤 忠男 (映画評論家)

新しい光と風
ベトナム映画シリーズのご案内

ロイテ 誓い



★1996年ベトナム作品/ザイフォン映画社制作
スタンダード/カラー/35mm/98min.
★監督：グエン・トゥオン・フオン
★出演：ミズエン、レ・ヴァン、ドン・ズオン

★解説：70年代のサイゴン。反政府運動の同志カインとチュンは、祭礼の夜に愛を誓い結ばれる。しかし戦争は男女の運命を容赦なく変える。カインは逮捕され収容所で娘ホアピンを生む。チュンは地位を得てほしいに正義感を持ってゆく。

90年代、別々の人生を歩んだ二人と娘ホアピンを、ある事件が巡り合わせる。男女の愛の物語に祖国への思いを重ねた。監督グエン・トゥオン・フオンの野心的デビュー作。「ナイフ」のミズエン、「十月になれば」「ニャム」のレ・ヴァン、「季節の中で」のドン・ズオンなど、現代ベトナム映画界を代表する豪華キャストが共演。



ナイフ

★1995年ベトナム作品/ザイフォン映画社制作
スタンダード/カラー/35mm/90min.

★監督：レ・ホアン
★出演：ミズエン、ティエウ・アイン・ズオン、レ・クン・バック
★解説：ベトナム戦争の末期、キリスト教徒の暮らす村が戦場と化した。戦いで祖母をなくし孤児となった少女ニユエは、一本のナイフに復讐を誓う。けれど、兵士ズンの出会いが少女の心を揺らした。「敵の中にも良い人はいらる……」

戦禍のただ中に生まれた恋は、二人だけの平和の領域となる。復讐と愛の相克。戦争が生み出した悲劇の中に清明な魂の喜びが滲えられた。監督レ・ホアンの出世作。

95年ベトナム国内映画祭において優秀作品賞を受賞。ティエウ・アイン・ズオンが最優秀男優賞を受賞している。ニユエを演じるミズエンは(レリナ出身で現在ベトナムナンバーワンの人気女優。95年東京アジアフィルムフェスティバル招待作品。

【事務局】株式会社グループ現代 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-11-13 翠松堂ビル4F Tel.03-3341-2863

【協 力】ベトナム大使館、(社)ベトナム協会、(財)日本ベトナム友好協会、(財)日本ベトナム文化交流協会

【協 賛】VIETNAM AIRLINES ベトナム航空会社、永代信用組合、(株)エムエスツーリスト 【配給元】プロセス資材株式会社

4月1日(土)より待望のロードショー!

特別鑑賞券/一般1,500円・2回券2,700円・3回券3,900円(税込)

※回数券は2回券で2名、3回券で3名でもご利用になれます。

劇場窓口、主要プレイガイドにて特別鑑賞券好評発売中
当日/一般1,800円・学生1,500円

●上映作品スケジュール

4月1日(土)～4月7日(金) ナイフ

4月8日(土)～4月14日(金) サイゴンからの旅人

4月15日(土)～4月21日(金) ロイテ=誓い=

4月22日(土)～5月5日(金) 1日に3作品を4回上映

シブヤ・03-3496-3203
シネマ・ツグエテ
13:00 15:00 17:00 19:00
完全入替制

渋谷区道玄坂1-18 フジビル37 B1

■渋谷駅ハチ公口より道玄坂上がり、交番前交差点を左折、酒屋の先1本目の通りを左折、フジビル37地下1階。(徒歩約13分)
■井の頭線 渋谷駅西口下車渋谷中央街上がる。(徒歩約5分)

